ブレークアウトルーム活用学習指導案

日本大学第二中・高等学校

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　折橋学

1.単元名　村上春樹『バースデー・ガール』

　ブレイクアウトルームを使用して話し合いをする。

2.単元について

（１）単元観

「二十歳の誕生日」の夜に「こうなればいい」という「たった一つだけ」の願いごとをすることになった「彼女」。十数年後、その日のことを「僕」に語る「彼女」は「人間というのは、何を望んだところで、どこまでいったところで、自分以外にはなれないものなのねっていうこと。ただそれだけ。」と述べて、人生の取り替え不可能性、一回性に思いを至らせる。「彼女」が何を願ったのか、「僕」の二つの質問に対する回答の真意は何なのか、人の願い人生は何かを小説を通して論理的思考を用いながら読み解く。

（２）生徒観

生徒は学習の意欲はあるものの、オンライン授業中には集中にかけることも多い。説明文を読むのを得意としているが、小説の場合は主観的な読みが先行してしまうことが多い。

（３）指導観

　文学的な文章の学習においては、教師の指摘によってはじめて比喩に気づき、そこから言葉の意味や解釈がはじまるこが多かった。また教師の説明によって、はじめて登場人物の心情に迫れることも多かった。今回のオンライン授業においては、主体的に意見を言い、また他人の意見を聞く中で場面の把握、登場人物の心理及び主題の考察を試みさせたい。

3.単元の目標　学指導要領の内容C-(1)ウ・オ(2)ウ

・作品を読み、自分の感想や考えを他との交流の中で深める。（関心・意欲・態度）

・文学的な文章における多様な工夫を読み取り、物語の展開の仕方を捉える。（読むこと）

・文学的な文章を読んで批評したり,それらを読んで考えたことなどを伝えあう。（読むこと）

・登場人物の特徴をとらえ、登場人物同士の関係性を把握する。（読むこと）

4.単元の評価基準

　**関心・意欲・態度**

作品に描かれる心情、場面の構成、語り手の有無などを積極的に理解しようする。

**思考・判断・技能**

作品の語句の使い分けに注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。

オンライン授業における話し合いでコミュニケーションツールを使いこなし、会議チャットや音声に

よる会話を積極的に行う。

**知識・理解**

作品の展開や表現の工夫について評価している。

5.■単元の指導計画(全4時間)

1. 文学的な文章の特徴を確認する。・登場人物の特徴を把握する。・彼女の願いごとについて考える。

＊Microsoft Whiteboardに「彼女」の願いごとを「メモ」の形で打ち込ませ、お互いの意見を見たうえで、次の授業に臨ませる。

1. 「僕」が「彼女」にした二つの質問の二つ目の質問についてグループで話し合い、意見をまとめる。
2. 「彼女」が願いごとに対して後悔したかについてまとめた後、あらためて願いごとを考えるのに有効な表現を拾い出させてグループごとに考察させる。
3. 小説の主題について考察する。まとめ。

6.準備・資料等

・オンライン授業用に、教科書の本文をPDF化して授業のチームに貼る。前回の授業で書かれた「『彼女』の『願い』ごと」をWhiteboardで閲覧させておく。Teamsを最新にバージョンにアップデータさせる。

　各Roomに提示する話し合うべき主題のアナウンスを用意しておく。

7.本時の展開(４時間のうちの2時間目)

（１）本時の目標

* 自分たちが初読で想定した「彼女」の願いごとを考えるヒントになる＜「僕」の彼女に対する二つの質問＞の考察を試みる。
* その願いごとを選んだことに判断をつけるために、時間がかかるとはどういう意味かを話し合わせる。
* 「僕」の「後悔していないか」という質問に対しての「彼女」の反応がどのようなものであったかを考察させる。
* 「車のバンバーにある二つばかりへこみ」とはどのような意味かを考えさせる。

（２）展開

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動・内容 | 学習形態 | 指導上の留意点 | 配時 |
| 導入 | ・オンライン授業環境の確認・本日のグループでの話し合いの内容(本時の目標)を会議チャットにて提示。 | 全 | ・Teamsの授業チームに参加した生徒のオンライン授業の参加、音声の確認をする。・前時の「彼女の願いごと」で出た意見をWhiteBoardで見たかを確認する。・僕の二つの質問が書かれている場所を教科書で指摘し、とくに二つ目の質問について考えるように伝える。・ブレイクアウトルームでの会話は、音声でも構わないが、会議チャットにも記録を残していくこと、話し合ったことの結論とその根拠も会議チャットに記録するように伝える。・Teamsに参加している生徒をある程度の数でグループ分けをして振り分け、「会議室を開始」で話し合いをはじめさせる。 | 10 |
| 展開 | ・ブレークルームでグループに分かれて話し合う。 | グ | ・各Roomの会話の進行をチャット欄で確認し、会話が停滞しているRoomには参加して、注目すべき語句などを指摘する。・途中「アナウンスを送信」し、次の点を伝える。①「彼女」が自分の願いごとをしたことに後悔しているか考えるために、「僕」が質問をした時の「彼女」の表情の表現などに注目させる。②結論と根拠を会議チャットに打ち込んでいるか、を確認する。③終了時間の五分前に「あと五分でRoomを閉じる」ことを伝える。 | 35 |
| まとめ | ・各Roomで書かれた結論と根拠の中から良かったものを紹介する。・今回の各グループの結論と根拠をMicrosoft Whiteboardに掲載しておくことを伝える。 | 全 | ・次回で後悔したかしなかったのかの結論を出すことを予告し、その参考となる表現を改めて揃いだしておくように指示する。・Whiteboardのリンクを確認するように促す。 | 5 |

（参考）先生が自分のチャットRoomで生徒の会話を確認する画面

